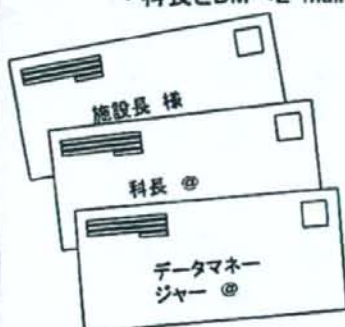


入力状況について

❖入力状況通知

- ◆施設長へ手紙
- ◆科長とDMへE-mail



オプション機能

❖データ解析機能

- ◆入力完了施設のみ利用可



オプション機能



JAPAN SCORE (2008)

術前までのデータ
入力



術前リスクを表示

目次一覧/JACVSD

JACVSD SCORE 2008

Year	SCORE	Year	SCORE
2008	47	2007	47
2006	47	2005	47
2004	47	2003	47
2002	47	2001	47
2000	47	1999	47
1998	47	1997	47
1996	47	1995	47
1994	47	1993	47
1992	47	1991	47
1990	47	1989	47

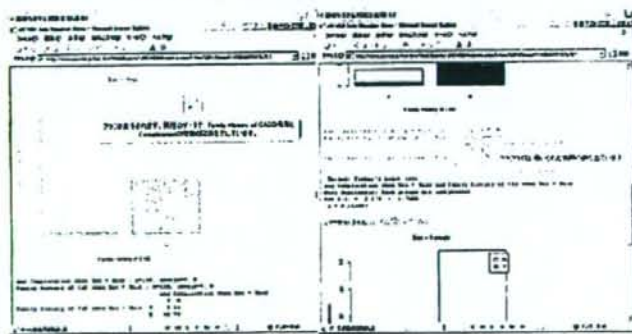
2008 JACVSD SCORE 47

オプション機能



❖データグラフ化機能

・入力完了施設のみ利用可



オプション機能

❖胸部外科学会アンケート対応機能

◆入力完了施設のみ利用可

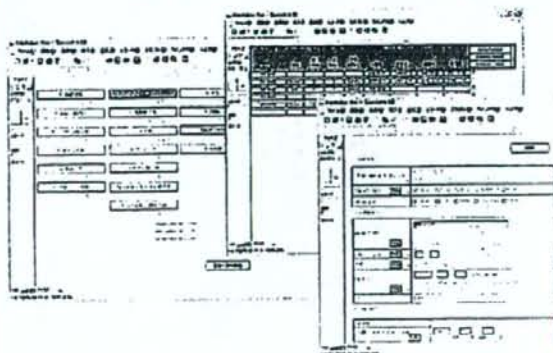
施設名	入力完了	アンケート対応	その他	備考
施設A	○	○		
施設B	○	○		
施設C	○	○		
施設D	○	○		
施設E	○	○		
施設F	○	○		
施設G	○	○		
施設H	○	○		
施設I	○	○		
施設J	○	○		



オプション機能

❖入力シート(ファイルメーカー版)

◆ホームページよりダウンロード可(V4準備中)

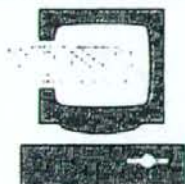


JACVSD事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目26番9号 鈴木ビル6階
日本心臓血管外科学会事務局内
日本心臓血管外科手術データベース機構
URL: <http://www.jacvsd.umin.jp/>

お問合せはメールで

E-Mail: jacvsd-adm@umin.ac.jp



入力してみましょう

❖用意するもの

- データマネージャーパンフレット
- 模擬データ



2008入力ゼロの施設（2）

- ◆ 東京慈恵会医科大学附属病院
- ◆ 国立国際医療センター
- ◆ 神奈川県立循環器呼吸器病センター
- ◆ 静岡県立総合病院
- ◆ 京都第一赤十字病院
- ◆ 京都府立医科大学附属病院
- ◆ 関西医大枚方病院
- ◆ 奈良県立医大附属病院
- ◆ 鳥取大学医学部附属病院
- ◆ 広島市民病院



2008入力ゼロの施設（3）

- ◆ 岩国医療センター
- ◆ 由利組合総合病院
- ◆ 秋田県成人医療センター
- ◆ 星総合病院
- ◆ 半田市立半田病院
- ◆ 神戸赤十字病院
- ◆ 香川大学医学部附属病院
- ◆ 高松赤十字病院
- ◆ NTT東日本関東病院



お知らせ

- ◆JapanSCOREの運用
- ◆LVADコーナーの開設
- ◆データ利用に関する取り決め
 - ◆過去3年間の入力完了施設
 - ◆当面は幹事会、Working Group参加施設から
- ◆フォローアップの入力に関して



データ利用に関する取り決め

- ◆過去3年間の入力完了施設
- ◆当面は幹事会、Working Group参加施設から
- ◆データ利用申請書



データ利用申請書

JACVSD データ利用申請書

T2 印刷用紙に全て記入ください。

1. 提出日 (年月日)	年 月 日	
2. 利用区分	学術利用	臨検利用
3. 申請区分 ※該当する箇所を○	学芸団	大学病院・その他施設
	研究機関等施設	病院・大学・大学以外の研究機関
	臨床企業	医療系企業・その他企業
	非臨床企業	医療系企業・その他企業
	個人	研究者・学生・非課税
団体	官公庁・地方自治体・慈善会	
その他		

JCVSD 資料番号・申請区分のみ記入

4. 申請区分	-
5. 施設ID	11 --
6. JACVSD に申請した年度	-
7. 研究施設所属 (院) 番号	-

フォローアップの入力に関して

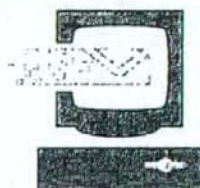
- ◆なるべく負担のかからない様式で
現在検討中
- ◆1, 5, 10年に生・死のみを入力
- ◆別サービスとして、
 - ◆Kaplan-Meierカーブを自動的にかく
プログラムを実装
- ◆少数の希望施設を募り、もう少し
詳細な項目でF/Uを開始。

JACVSD事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目26番9号 鈴木ビル6階
日本心臓血管外科学会事務局内
日本心臓血管外科手術データベース機構
URL: <http://www.jacvsd.umin.jp/>

お問合せは

E-Mail: jacvsd-adm@umin.ac.jp



Site Visit 報告

JACVSD事務局

第61回 日本胸部外科学会定期学術総会
データマネージャー会議
2008/10/13

Site Visit の目的

Data Cleaning

施設訪問 - データチェック



- Ⓔ 入力されたデータの正確性の評価
- Ⓔ データベース入力項目の妥当性について検討



データベースの信頼性向上

第61回 日本胸部外科学会定期学術総会
データマネージャー会議



Working Group Site Visit 検討委員会

- Site Visitの施行方針を検討する。
- Site Visitの実施、および実施責任者を務める。
- Site Visitにて挙げられた入力項目・システムに係わる問題点につき検討する。

月原 弘之	JACVSD事務局
小田 克彦	東北大学
山本 裕之	鹿児島大学
大谷 則史	新日鐵室蘭総合病院
中島 隆之	岩手医科大学
美甘 章仁	山口大学
前川 厚生	名古屋大学

第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会



Working Group 活動報告 1 Site Visit

- 2004.7.14 第1回 Site Visit
東北大学
- 2006.6.14 2006年 第1回
京都府立医科大学
- 2006.8.30 2006年 第2回
三重大学
- 2006.9.20 2006年 第3回
北海道大学
- 2006.10.30 2006年 第4回
東京大学



第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会



Working Group 活動報告 2

Site Visit

- ☐ 2007.3.29 2007年 第1回
鹿児島大学
- ☐ 2007.5.10 2007年 第2回
岩手医科大学
- ☐ 2007.6.19 2007年 第3回
山口大学
- ☐ 2007.8.3 2007年 第4回
新日鐵室蘭総合病院
- ☐ 2007.9.26 2007年 第5回
川崎医科大学



第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会
JACS

Working Group 活動報告 3

Site Visit

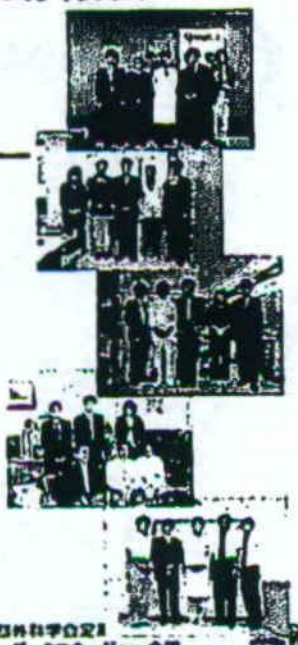
- ☐ 2007.10.31 2007年 第6回
近森病院
- ☐ 2007.11.28 2007年 第7回
心臓病センター-榊原病院
- ☐ 2007.12.18 2007年 第8回
獨協医科大学越谷病院
- ☐ 2008.1.24 2008年 第1回
名古屋大学
- ☐ 2008.2.26 2008年 第2回
大阪市立総合医療センター



第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会
JACS

Working Group 活動報告 4 Site Visit

- ☐ 2008.3.14 2008年 第3回
九州医療センター
- ☐ 2008.4.22 2008年 第4回
市立旭川病院
- ☐ 2008.5.20 2007年 第5回
大阪市立大学
- ☐ 2008.6.9 2008年 第6回
神戸大学
- ☐ 2008.7.22 2008年 第7回
広島市民病院



6/21/2009

第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会議

Working Group 活動報告 5 Site Visit

- ☐ 2008.8.21 2008年 第8回
東京女子医科大学
- ☐ 2008.9.19 2008年 第9回
熊本大学
- ☐ 2008.10.27 2007年 第10回 (実施予定)
札幌医科大学
- ☐ 2008.11. 2008年 第11回 (調整中)
広島市立安佐市民病院
- ☐ 2008.12. 2008年 第12回 (調整中)
大阪大学



6/21/2009

第61回 日本胸外科学会定例会
データマネージャー会議



Working Group 活動報告 6 Working Group 会議

- E 2006.7.1 第1回 Working Group 会議(東京)
Site Visit 検討委員会編成
- E 2006.10.2 第2回 Working Group 会議(東京)
- E 2006.11 Working Group メンバー追加募集①
- E 2007.2.21 第3回 Working Group 会議(東京)
- E 2007.7.14 第4回 Working Group 会議(東京)
- E 2007.10.19 第5回 Working Group 会議(仙台)

第61回 日本動物科学会定例会
データマネージャー会議



Working Group 活動報告 7 Working Group 会議

- E 2008.2.21 第6回 Working Group 会議(福岡)
- E 2008.2 Working Group メンバー追加募集②
- E 2008.10.13 第7回 Working Group 会議(福岡)
- E 2009.4 第8回 Working Group 会議(予定)
定期的・適宜 WG会議開催

第61回 日本動物科学会定例会
データマネージャー会議



Site Visit の成果

- E 現時点で計 22 施設に対して Site Visit を施行
- E 訪問施設において引き起こされている入力に係わる問題点を指摘

各施設における入力データの
正確性を確認

入力項目の問題点を指摘・検討

Site Visit 実施施設

入力状況「完了」

対象年および近年のデータ入力状況

Data Entry期間


データベース参加期間が長期の施設

05期

候補施設

02/03期

第61回 日本胸外科学会定例学術大会
データマネージャー会議



最後に

- Working Group
 - Site Visit 検討委員 募集
- Site Visit 実施メンバー
 - Data Manager をSite Visitの都度募集

心臓血管外科データベースの
信頼性の向上を図るため
継続して活動を行う

第61回 日本胸外科学会定例学術大会
データマネージャー会議



Site Visit Manual

The cover page of the 'Site Visit Manual' features a central vertical title 'Site Visit マニュアル' (Site Visit Manual) in Japanese. To the left, there are several callout boxes containing text and icons, including a small 'Site Visit マニュアル' logo at the top. To the right, there are two larger rectangular boxes with text and small images. At the bottom center, there is a small logo and text: '第61回 日本国際科学会定期学術大会' (61st Annual Meeting of the Japanese International Science Association) and 'データマネージャー会' (Data Manager Association). The JASFD logo is also present at the bottom right.

第61回 日本国際科学会定期学術大会
データマネージャー会

JASFD

JACVSD

データマネージャー会議

2009年4月22日(水)
ANAクラウンプラザホテル富山
第39回日本心臓血管外科学会学術総会
1日目、JACVSD事務局

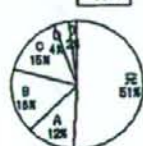




入力状況

◆ 2006年 ◆ 2007年 ◆ 2008年 ◆ 2009年

2006年3月	
判断	施設数
完了	66
A	13
B	16
C	17
D	4
0	2
110	



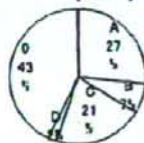
2007年2月	
判断	施設数
完了	66
A	28
B	7
C	12
D	1
0	6
181	



2008年3月	
判断	施設数
完了	48
A	63
B	16
C	40
D	6
0	10
181	



2009年3月	
判断	施設数
A	66
B	18
C	45
D	4
0	90
210	



参加施設

◆ 210施設

(210 ÷ 540 → 38.9%)

年間入力数

◆ 23068 症例 / 2008年

胸部外科アンケートでの年間症例数 (2007年分)
= 43274 (先天性以外)

23068 ÷ 43274 →→ **53.3%**



2008入力ゼロの施設

- ◆ 北海道循環器病院
- ◆ 由利組合総合病院
- ◆ 埼玉医大国際医療センター(日高市)
- ◆ 東京医科大学病院
- ◆ 国立国際医療センター
- ◆ 京都第一赤十字病院
- ◆ 関西医大枚方病院
- ◆ 鳥取大学医学部附属病院



2008入力「ランクD」の施設

- ◆ 東京慈恵会医科大学附属病院
- ◆ 群馬県立心臓血管センター
- ◆ 順天堂大学医学部附属順天堂医院
- ◆ 半田市立半田病院
- ◆ 奈良県立三室病院

- ◆ <倫理委員会、入力作業トラブル等の連絡あり>
- ◆ 神戸赤十字病院
- ◆ NTT東日本関東病院



データベースの展開

小児先天性部門の発足と、
国際連携

